



調査報告書

【WiFi料金満足度調査】 WiFiの月額以外の 隠れコストを見落とした人は約6割

調査実施：株式会社ALL CONNECT / オールコネク トマガジン編集部

発行日：2026年4月15日

調査概要

調査目的	自宅WiFi利用者の月額料金実態と割高感、安さ重視で選んだ場合の満足度・後悔ポイントを明らかにし、乗り換え検討時の判断材料を提供する。
調査方法	インターネット調査（クラウドワークスによるWEBアンケート）
調査時期	2026年4月
調査対象	自宅でWiFi（ポケット型WiFi・ホームルーター・光回線）を利用している男女
有効回答数	500件
調査実施機関	株式会社ALL CONNECT / オールコネクトマガジン編集部

調査結果サマリー

- ・現在の月額料金を「高い」と感じる利用者は約68.0%（やや高い54.6%+非常に高い13.4%）。一方で「より安いWiFiへの乗り換え」を実際に行った人は16.8%にとどまり、検討者76.6%との大きな乖離が見られる。
- ・WiFi契約時の「初期費用・端末代・解約違約金」など月額外コストを完全に把握していたのは37.2%のみで、残り62.8%は一部または大半を見落としていた。
- ・「安さ重視」で選んだ結果の後悔として最多は「速度が遅かった」34.0%。「後悔・失敗したことがない」は25.8%にとどまり、約7割が何らかの後悔・失敗を経験している。
- ・乗り換え時に「安さ」以外で重視する条件は「通信品質の保証」31.4%と「縛りなし・解約自由」31.2%が拮抗し、価格よりも品質と契約の柔軟性が重視される傾向。
- ・最も効果があると思う節約方法は「乗り換え」36.6%が圧倒的支持。次点の「セット割の利用」19.6%・「キャッシュバックの活用」17.2%の約2倍。

調査結果詳細

1. より安いWiFiへの乗り換え検討経験

選択肢	回答数	割合
はい	383	76.6%
いいえ	117	23.4%

4人に3人が「より安いWiFi」への乗り換えまたは費用節約を検討した経験がある。料金への問題意識が広く共有されている。

2. 現在の自宅WiFi月額料金（税込・端末代含む）

選択肢	回答数	割合
4,001円以上	226	45.2%
3,001～4,000円	139	27.8%
2,001～3,000円	81	16.2%
1,000円未満	21	4.2%
1,001～2,000円	15	3.0%
不明	18	3.6%

4,001円以上が45.2%、3,001～4,000円が27.8%。実に7割超が3,001円以上を支払っており、光回線基準の料金帯が中心。

3. 現在の月額料金への割高感

選択肢	回答数	割合
やや高い	273	54.6%
どちらでもない	110	22.0%
非常に高い	67	13.4%
やや安い	35	7.0%
非常に安い	15	3.0%

「高い」と感じる層（やや高い+非常に高い）が68.0%。利用者の3分の2強が現状料金に不満を持っている。

4. WiFiコストを下げるために実際に行動したこと（複数選択可）

選択肢	回答数	割合
比較サイトで調べた	198	39.6%
何もしていない	94	18.8%
乗り換えた	84	16.8%
プラン変更した	48	9.6%
格安SIM併用を検討した	44	8.8%
キャッシュバックを申請した	34	6.8%

比較検討までは進むものの、実際に乗り換えに至るのは16.8%。検討率76.6%との差から、行動移行のハードルが高いことが伺える。

5. 安いWiFiを選んだ後の通信品質満足度

選択肢	回答数	割合
どちらでもない	205	41.0%
やや満足	167	33.4%
やや不満	89	17.8%
非常に満足	29	5.8%
非常に不満	10	2.0%

満足層39.2%に対し不満層19.8%。安さで選んでも約2割は通信品質に不満を感じている。

6. 契約時の隠れコスト把握状況

選択肢	回答数	割合
一部見落としていた	223	44.6%
すべて把握していた	186	37.2%
ほとんど知らなかった	91	18.2%

初期費用・端末代・解約違約金を完全把握していたのは37.2%のみ。62.8%が一部または大半を見落としており、隠れコストの透明性が課題。

7. 安さ重視で選んだWiFiでの後悔・失敗（複数選択可）

選択肢	回答数	割合
速度が遅かった	170	34.0%
後悔・失敗したことがない	129	25.8%
隠れコストが高かった	71	14.2%
データ制限に引っかかった	39	7.8%
サポートが悪かった	37	7.4%
キャッシュバックが少なかった	36	7.2%
解約できなかった	20	4.0%

後悔の最多は通信速度の問題。「後悔なし」は25.8%にとどまり、約7割が何らかの不満を経験している。

8. 乗り換え時に重視したい安さ以外の条件

選択肢	回答数	割合
通信品質の保証	157	31.4%
縛りなし・解約自由	156	31.2%
キャッシュバックの大きさ	73	14.6%
端末が実質無料	34	6.8%
即日利用できる	34	6.8%
他社違約金を負担してもらえる	33	6.6%
初月無料	13	2.6%

「通信品質の保証」と「縛りなし・解約自由」がほぼ同率で1位。価格訴求のキャッシュバック・端末割よりも、品質と契約自由度が重視される。

9. 最も効果があると思う節約方法

選択肢	回答数	割合
乗り換え	183	36.6%
セット割の利用	98	19.6%
キャッシュバックの活用	86	17.2%
プランの変更	67	13.4%
格安SIMとの併用	50	10.0%
他社違約金負担サービスの活用	14	2.8%
その他	2	0.4%

「乗り換え」が圧倒的1位（36.6%）。検討者76.6%・実行者16.8%のギャップを埋める動機付けが市場の課題。

調査方法の詳細

調査ツール・実施方法

クラウドワークスのアンケート機能を用いたインターネット調査として実施。回答者は自身のPC・スマートフォンから回答した。

スクリーニング条件

自宅でWiFi（ポケット型WiFi・ホームルーター・光回線のいずれか）を利用している男女を対象とした。

除外条件

無効回答・トラップ設問非通過分を除外し、有効回答500件を集計対象とした。

回答者属性

本調査では性別・年代等の個別属性は集計対象外（n=500の全体集計のみ公開）。

データの利用条件・引用ガイドライン

出典表記

本データを引用・転載する際は、以下の出典を明記してください。

出典記載例（個別調査を引用する場合）

出典：オールコネクトマガジン 「【WiFi料金満足度調査】WiFiの月額以外の隠れコストを見落とした人は約6割」
(<https://all-connect.co.jp/magazine/wifi-price-satisfaction-survey-202604/>)

各カードの「記事を読む」リンク先が出典URLです。データライブラリ全体を参照する場合は <https://all-connect.co.jp/magazine/data/> をご利用ください。

利用可能な範囲

- ・ 記事・レポート・プレゼン・SNS等での引用・転載（出典明記のうえ事前連絡不要）
- ・ グラフ作成・独自分析・再集計などの二次利用（出典明記のうえ可）
- ・ 商用目的での利用（出典明記のうえ可）

禁止事項

- ・ 元データの改ざん・調査結果を誤認させる文脈での使用
- ・ CSVやPDFファイルの再ホスティング・再配布

お問い合わせ

データの詳細・調査に関するご質問は [お問い合わせフォーム](#) よりご連絡ください。